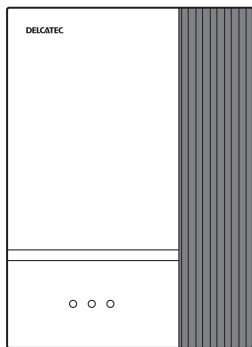


ワイヤレスインターホン 増設用玄関子機 DWA20D

保証書付

DECT 準拠方式^(※1)

本製品は、報知、連絡用であり生命救済、
犯罪防止を目的とした機器ではありません。



はじめに | 室内機(親)への登録が必要です

登録作業が済んでいない玄関子機は使用
できません。

この取扱説明書では、増設用 玄関子機の室内機(親)への登録方法など、主に増設に関する取扱いを説明しています。室内機(親)の使用方法に関する詳細は、セット商品に付属している取扱説明書をご覧ください。

セット商品につきましては、
・玄関子機セット:DWA20BD
または
・室内機(子)セット:DWA20BR
をお買い求めください。

(※1) DECT (Digital Enhanced Cordless Telecommunications) は ETSI (欧州電気通信標準化機構) の商標で、世界で広く普及している無線通信方式のひとつです。

このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに保管してください。

この製品は、弊社の下記の製品とはシステムが異なりますので、増設・登録して使用することはできません。(互換性がありません)

- ・ HCシリーズ
(HC-3、HC-7、HC-8)
- ・ DWP10A1
- ・ DWP10A4
- ・ DWH10A1
- ・ DWP10A2
- ・ DWG10A1
- ・ DWM10A2

目次

目次	2
----	---

はじめに

安全上のご注意	4
使用上のお願い	7
必ずお読みください	7
使用上のご注意	7
防水性能について	7
電波について	7
知っていただきたいこと	8
セット内容	9
各部の名称	10

準備・設置

電源	12
電池を入れる	12
玄関子機の電池が切れたとき	13
登録方法	14
登録方法	14
登録解除方法	16
取り付け方法	17

使用方法

操作方法	21
玄関子機と室内機の呼び出し・通話	21
玄関子機の機能設定	26
設定できる機能の一覧	26
呼び出し音量の設定	27
通話音量の設定	27

その他

故障と判断する前に	28
メンテナンス	30
お手入れおよびメンテナンス時のご注意	30
仕様	31
外形寸法図	31

安全上のご注意

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。






警告

この内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この内容を見逃して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

 一般的な注意事項	 水ぬれ禁止	 接触禁止	 指示を守る
 一般的な禁止事項	 分解禁止	 ぬれ手禁止	 プラグを抜く



警告



指定の電源で使用する

- 玄関子機は必ず市販の単3形アルカリ乾電池を使用する。別の種類の電池を使用すると、液漏れや発熱の原因となります。
- 玄関子機の乾電池は入れる前に、 \oplus \ominus の向きを確かめて正しく入れる。向きを間違えると火災や感電、故障の原因となります。



ぬれた手でさわらない

感電の原因となります。



雷が鳴り出したら玄関子機に触れない

感電の原因となります。



分解、改造、修理はしない

分解や改造は法律により禁止されていますので、絶対にしないでください。

警告

本製品を次の場所に設置しない

- 強度の不足する場所、不安定な場所、振動の多い場所
落下し、けがの原因となります。
- 浴室やシャワー室、プールなどの湿気の多い所
火災や感電、故障の原因となります。



次のような場所や条件では、人体や医療機器などに影響を与える場合があるため、取り付けない


- 病院など特定の電波の使用を禁止された区域
- 医療用電気機器の近く（手術室、集中治療室、CCU等）
※CCU：冠状動脈疾患監視病室
- 自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近く
- 心臓ペースメーカーの装着部位から15cm以内の位置
誤動作による事故の原因となります。



乳幼児の手の届く場所に付属品などを置かない


乳幼児が付属品などを飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。


警告

 距離が離れていたり、100m以内でも間に次のような遮蔽物が存在したりする場合、環境により電波が弱くなってブツブツ音や通話の途切れが起きる事があります

・障害物


- ・金属製のドアや雨戸(シャッター)
- ・複層ガラスの窓
- ・アルミ箔入りの断熱材が入った壁
- ・壁を何枚も隔てたところ
- ・コンクリートやトタン製の壁
- ・テレビ、携帯電話などの無線局が近くにある場合
- ・テレビ、ラジオ、ルーター、パソコン、FAX、送信機など電波を発生している家電製品やその他のOA機器が近くにある場所
- ・各機器をそれぞれ別の階や家屋などで使う場合
- ・夜間のシャッターの戸締り

 本製品にホースなどで直接水をかけたり、大量の水がかかるような場所には取り付けない
大量の水(ゲリラ豪雨や台風の雨など)がかかる場所などでは使用できません。

 **定期的に点検する**
取り付けが緩んだり、ネジが錆びたりすると、落下による破損、けがの原因となります。

本製品は正しい向きで使用する

玄関子機は防雨構造ですが、JIS保護等級IPX3(防雨型)相当の防水構造です。屋外で据え置きにしたり、斜めに取り付けたりすると雨水が浸入して故障の原因となります。

 **お手入れの注意**
ベンジンやアルコール、シンナーなどは使わず、乾いた布で乾拭きしてください。溶けたり、変形や変色の原因となります。

使用上のお願い

必ずお読みください

本製品を設置する前に、必ず動作確認を行ってください。本書に記載されている以外の取り付けを行ったことに起因する故障、および事故については当社は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

重要 設置場所の環境によっては、他の機器の電波が妨害となったり、壁などの影響によって電波が減衰するなど、正常に動作しないことがあります。電波強度が十分かどうかは、室内機(親)のランプで、確認することができます。

使用上のご注意

・本製品の使用は、日本国内のみです。海外では使用できません。

防水性能について

・本製品には、JIS保護等級IPX3(防雨型)相当の防水性能がありますが、完全防水ではありません。多少の水に濡れても使用できますが、水没した場合は故障する恐れがあります。背面に水などが直接かからないようにしてください。

電波について

本製品は、1.9GHz帯を使用する時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話の無線局の無線設備です。

1.9-D

(一般社団法人 電波産業会 標準規格「ARIB STD-T101」準拠)

本製品はデジタル信号を利用しており、通信傍受されにくい商品ですが、電波を扱うことにより、第三者が故意に傍受することも考えられるため、あらかじめご了承ください。

本製品の使用周波数に関するご注意

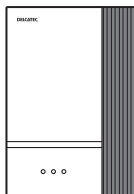
- 本製品の使用周波数帯では、PHSの無線局のほか、異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。
- 本製品は同一周波数帯を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、本製品から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかにご購入店、当社カスタマーセンターにご連絡いただき、混信回避のための処置等(例えばパーティションの設置等)についてご相談ください。
- 無線LANとは周波数が異なるので混信することはありません。
- 本製品をCSデジタル放送を受信している環境で使用する場合、CSデジタル放送のアンテナ伝送路に本製品の電波が混入(テレビ映像にモザイク状のノイズが発生)する可能性があります。この場合、シールド性の高い衛星放送対応の分波器、接続ケーブルをお使いいただくことで影響を軽減できる場合があります。

知っていただきたいこと

- すべての通話は室内機(親)を中継して行いますので、室内機(親)の電源がOFFになったり、室内機(親)の電波がさえぎられると、通話ができなくなりますので、ご注意ください。
- 各機器を1m以内に近づけるとハウリングが発生することがあります。その場合、離して使用してください。
- 玄関子機からの呼び出しは、室内機の一斉呼び出しになります。

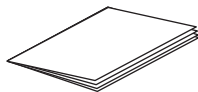
セット内容

本製品には次のものが入っています。すべてが揃っているかを確認してください。



取付台(1台)は、
本体に装着済です

玄関子機:1台



取扱説明書:1冊



アンカー:
2本



小ネジ
(M4×18mm):2本



壁取付用ネジ
(M4×25mm):2本

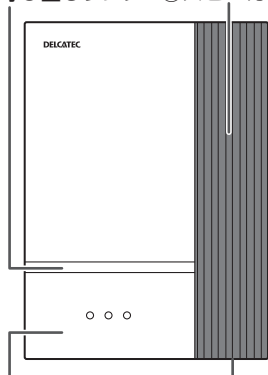
重要

単3形アルカリ乾電池は付属しておりません。
市販品を別途ご用意ください。

各部の名称

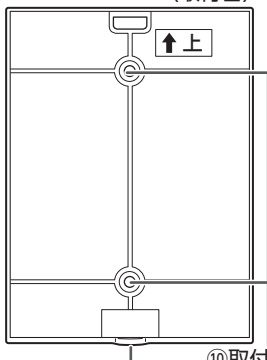
● 正面

③呼び出しランプ ①スピーカー



● 背面

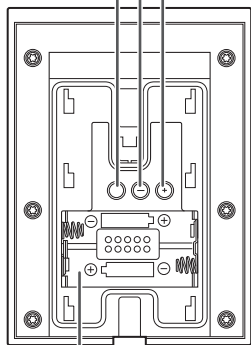
〈取付台〉



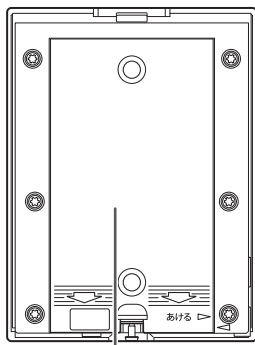
④呼び出しボタン ②マイク (底面) ⑩取付け孔

● 背面 (電池カバー取り外し時)

⑤設定ボタン ⑥音量-ボタン
⑦音量+ボタン



⑧電池ケース



⑨電池カバー

①スピーカー

呼び出し音、通話音声を出力します。

②マイク(底面)

この部分に向かって話します。

③呼び出しランプ**・青色点滅**

呼び出し中

・青色点灯

通話中

④呼び出しボタン

室内機を呼び出すときに押します。(増設用室内機を増設している場合は、すべての室内機を同時に呼び出せません。)

⑤設定ボタン

機能設定モードに入るときに使用します。

⑥音量-ボタン/⑦音量+ボタン

通話の音量を設定するときに使用します。

⑧電池ケース

市販の単3形アルカリ乾電池×2本を入れます。

⑨電池カバー

電池を交換するときに外します。

⑩取付け孔

付属のネジを通して、壁面等に固定します。

⑪取付台固定ネジ

電池を交換するときなど、取付台を玄関子機本体からはずすときや、本体に取り付けるときは、この固定ネジを回して緩めます。固定ネジは、完全には取り外せないようになっています。

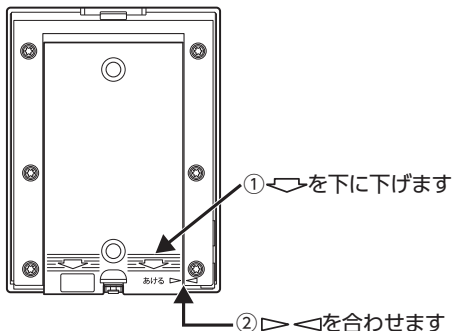
電源

電池を入れる

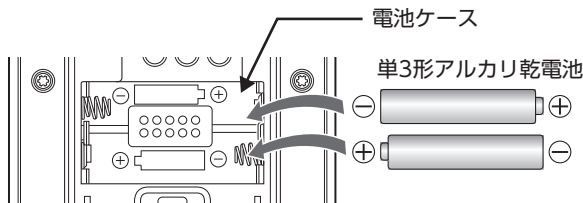
重要

単3形アルカリ乾電池は付属しておりません。市販品を別途ご用意ください。

下記の①～②の要領で電池カバーをはずします。



電池ケースに新品の単3形アルカリ乾電池(市販品)2本を⊕⊖の向きを確認のうえ、正しく入れてください。正しく入ると、呼び出しランプが青色点灯(約5秒)し、消灯します。



注意

指定以外の電池は使用しないでください。

マンガン乾電池やニッケル水素電池等の二次電池では正常に動作しません。また、古いものと新しいものの混用やアルカリ乾電池と別の種類の乾電池との混用、電池切れ状態での長期放置はしないでください。液漏れや発熱による故障の原因となります。

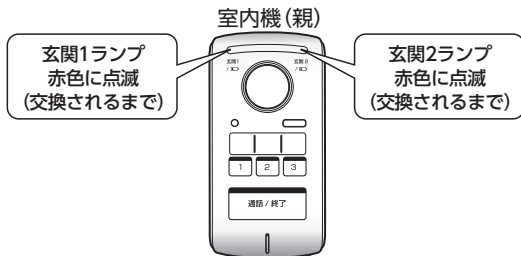
玄関子機の電池が切れたとき

玄関子機の電池残量が少なくなると室内機(親)のそれぞれに対応する玄関1ランプまたは玄関2ランプが赤色に点滅します。対応する玄関子機の背面カバーを開け、単3型アルカリ電池を2本とも交換してください。



電池の交換方法については「電池を入れる」(➡12ページ)をご確認ください。

玄関1ランプまたは玄関2ランプは玄関子機の電池が交換されるまで赤色点滅しつづけ、電池が正しく交換されると消灯します。



玄関子機の電池寿命は、1回の呼び出し動作で応答して約10秒間の通話を1日5回する場合、約12か月です。

ただし、呼び出し回数が多い場合は、大幅に短くなります。

また、室内機(親)のACアダプターがはずれていると、室内機(親)を探す動作を行うため、電池の寿命が短くなります。

登録方法

登録方法

このようなときに必要です。

- 本製品を初めて使用するとき
- 初期化後に再登録するとき

重要

- 登録作業が済んでいない玄関子機は使用できません。
- 1台の室内機(親)には最大2台の玄関子機が登録できます。(ワイヤレスインターホン玄関子機セット(DWA20BD)をご使用の場合は、玄関子機が1台すでに登録済みです)
- 複数の玄関子機を登録する場合でも、登録作業は1台ずつ行ってください。



- 登録されている他のすべての機器が待機状態であることを確認してください。
- 登録中は呼び出し、通話はできません。

1 室内機(親)と登録する玄関子機の電源を入れます。

2 室内機(親)の「音量/設定」ボタンを3秒以上押します。

確認音が鳴り、電源ランプが緑色に点滅します。

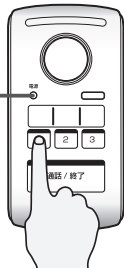
緑色点滅



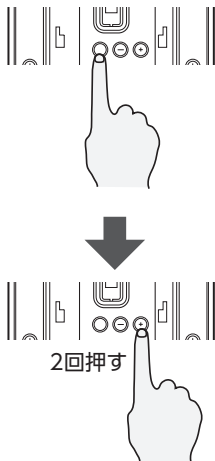
3 室内機(親)の室内機ボタン[1]を押します。

確認音が鳴り、電源ランプが赤色と緑色が交互に点灯します。(登録するモードになります。)

赤色と緑色が交互に点灯



- 4** 玄関子機裏面の設定ボタンを確認音が鳴るまで押し、音量+ボタンを2回(5秒以内)押します。
音量+ボタンを押した後にも確認音が鳴ります。



- 5** 登録が完了すると、室内機(親)と玄関子機の確認音が鳴ります。また、室内機(親)では電源ランプが消灯して、玄関2ランプが1秒間緑色に点灯します。



※玄関子機1として登録された場合には、玄関1ランプが1秒間緑色に点灯します。

登録解除方法

このようなときに必要です。

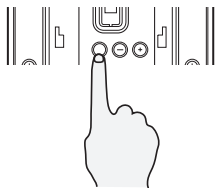
- 使用しない玄関子機の登録を削除するとき
- 本製品を別の室内機(親)に登録するとき
- 玄関子機を交換するとき
- 室内機(親)が複数台あり、各グループの組み合わせを変更するとき

登録情報を解除するには、以下の手順で操作を行ってください。

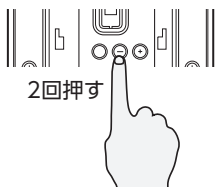
重要 室内機(親)で操作する場合、すでに登録されているすべての玄関子機と室内機(子)の情報が削除されます。(特定の子機を選んで削除することはできません。)

1 室内機(親)との登録を解除する玄関子機の電源を入れます。

2 玄関子機裏面の設定ボタンを確認音が鳴るまで押します。



3 音量一ボタンを2回(5秒以内)押します。
確認音が鳴り、登録情報が解除されます。



取り付け方法

⚠注意

- 金網、鉄筋および鉄骨など埋め込まれている壁面・柱や金属製の扉には取り付けないでください。
- 通信距離100mは、室内機(親)と各玄関子機との間の見通し距離になります。室内機(親)の設置場所を工夫することで、室内機(子)および玄関子機は最大200mまで通信が可能になります。

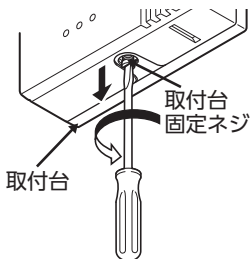


ただし、最大距離ですので取り付ける前に必ず、その場所ですべての室内機と玄関子機および室内機間で呼び出し・通話ができることを確認してください。取付環境により通話可能距離が短くなる場合があります。

- 玄関子機は垂直に取り付けてください。斜めに取り付けると雨水が侵入して故障の原因となります。
- 既設のインターホンやチャイムなどから交換するときは、AC100Vの電源線が配線されている場合があるので、ビニールテープを巻くなど配線に絶縁処理が必要になります。既設のインターホンやチャイムなどから交換するときは、販売店または工事店へご相談ください。

● 取付台はずしかた

右図のように、ドライバーで、取付台固定ネジをゆるめて、取付台から玄関子機本体をはずしてください。

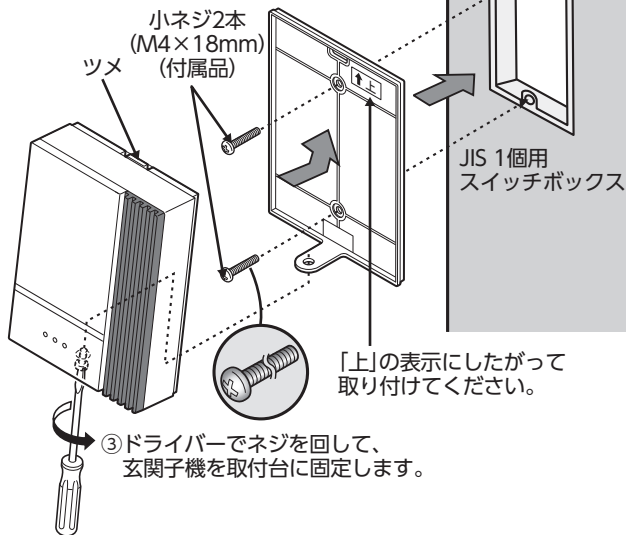


● 玄関子機の取り付けかた

(1) JIS 1個用スイッチボックスに取り付ける場合

② ツメを取付台の上部に差し込むように本体をはめ込みます。

① はじめに取付台を壁面に取り付けます。

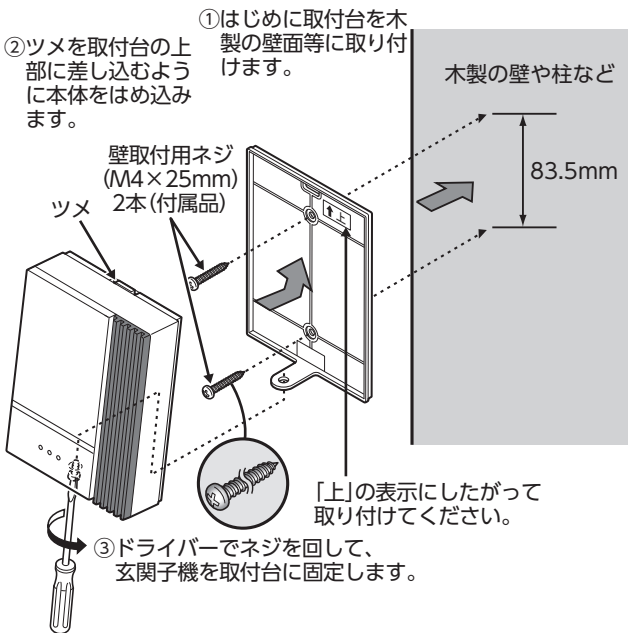


(2) モルタル、木製の壁面・柱に取り付ける場合

重要

取付作業をする前に、実際に室内機(親)と通話ができることを確認してください。

一度取り付けると、壁面等に穴が開きますので、ご注意ください。

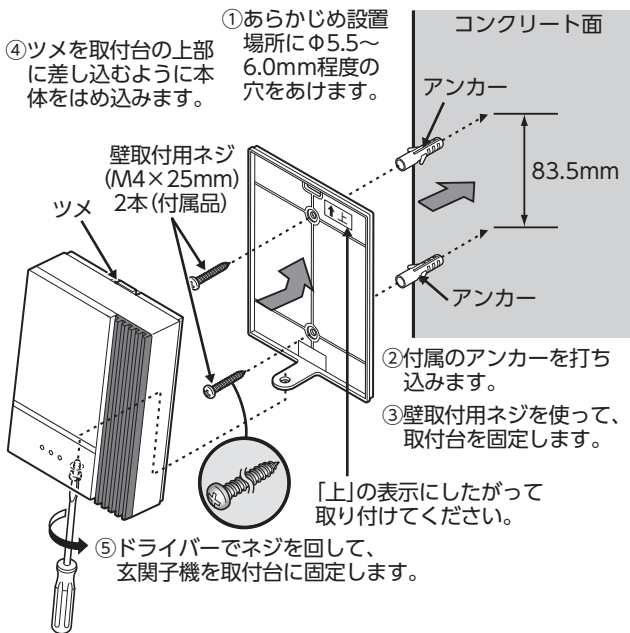


(3) コンクリートに取り付ける場合

重要

取付作業をする前に、実際に室内機(親)と通話ができることを確認してください。

一度取り付けると、コンクリートに穴が開きますので、ご注意ください。



操作方法

玄関子機と室内機の呼び出し・通話

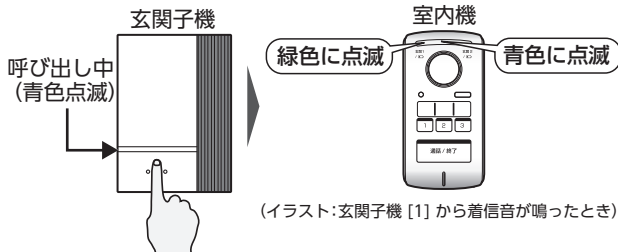
重要

- 複数の室内機を設置している場合は、すべての室内機を同時に呼び出します。(先に「通話/終了」ボタンを押した方と玄関子機とが通話できます。)
- 室内機から玄関子機を呼び出すことはできません。

- 1 玄関子機の呼び出しボタンを押すと、室内機の着信音が鳴り、玄関1ランプまたは玄関2ランプと着信ランプが点滅します。

呼び出し音が鳴ります。

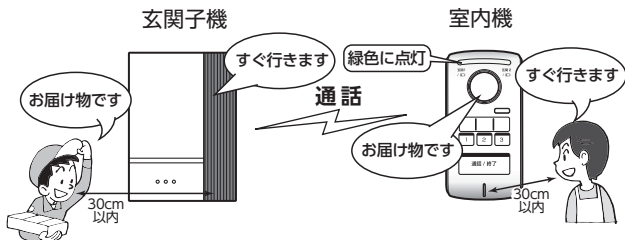
玄関子機1と玄関子機2は着信音が異なります。



呼び出し音は、呼び出しボタンを押して、少し遅れて鳴ります。

2 玄関1ランプの点滅中に室内機の「通話/終了」ボタンを押します。

着信音が鳴り止め、玄関1ランプが点滅から点灯に変わり(着信ランプの青色点滅が消灯)、通話モードになります。なるべくマイクに近づいて話してください。



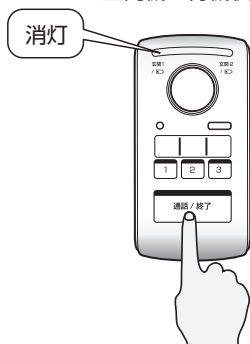
- ・室内機が複数台ある場合は、すべての室内機を同時に呼び出します。
- ・玄関子機2から着信した場合は、玄関2ランプの点滅中に室内機の「通話/終了」ボタンを押します。

3 通話が終了したら、室内機の「通話/終了」ボタンを押します。

通話が終了し、玄関子機と室内機が待機状態になります。

「通話/終了」ボタンを押さなくても、約3分後に通話モードは自動停止し、待機状態になります。(自動停止の15秒前に自動停止予告音が鳴ってお知らせします)

室内機：待機状態

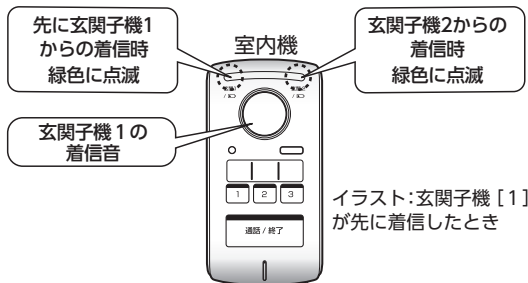


通話が済んだら終了を

終了ボタンを押さない場合、約3分経つまで自動停止しません。屋外に室内機からの音が流れ続けます。通話終了後は、必ず終了してください。(玄関子機の電池の節約にもなります。)

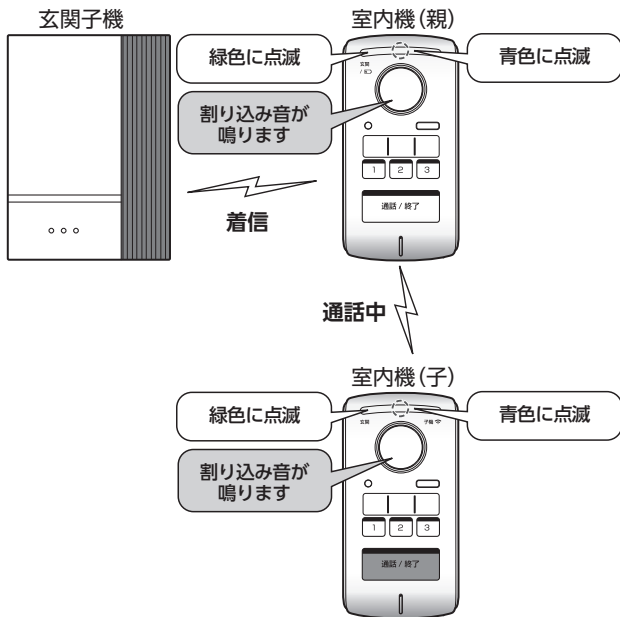
● 玄関子機を2台登録し、同時に着信があった場合

- 玄関子機[1]から着信中に玄関子機[2]から着信した場合は、「通話/終了」ボタンを押すと、先に着信した玄関子機[1]と通話できます。(玄関子機[2]が先に着信したときは、玄関子機[2]と通話できます。)
- 玄関子機[1]との通話が終了した後、または、他の室内機が玄関子機[1]との通話を開始した後に、室内機の「通話/終了」ボタンを押すと、玄関子機[2]と通話することができます。



● 室内機同士の通話中に玄関子機から呼び出された場合

- 室内機間で通話中に玄関子機の呼び出しボタンが押されると、割り込み音が鳴ります。そのときに室内機で「通話/終了」ボタンを押すと、室内機との通話が終了し、玄関子機との通話に切り替わります。
- 室内機で「通話/終了」ボタンを押さなければ、室内機間の通話を継続することができます。



玄関子機の機能設定

設定できる機能の一覧

機能		参照
呼び出し音量	呼び出し音量を「最大」「大」「中」「小」「最小」の5段階で設定します。	➡27ページ
通話音量	通話音量を「大」「中」「小」「最小」の4段階で設定します。	➡27ページ

呼び出し音量の設定

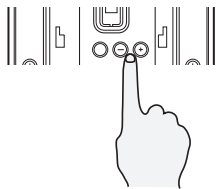
呼び出し音量を「最大」「大」「中」「小」「最小」の5段階で設定します。

1 呼び出し中に、音量-ボタンまたは音量+ボタンを押します。

呼び出し音が鳴っている間は、音量+ボタンを押すたびに、「最小」「小」「中」「大」「最大」と音量が大きくなり、音量-ボタンを押すたびに、「最大」「大」「中」「小」「最小」と音量が小さくなります。

ボタンを押すごとに選択した呼び出し音量になります。(音量が「最大」のときに、音量+ボタンを押すと、「最大」を知らせる音が鳴ります。)

出荷時設定:「中」



通話音量の設定

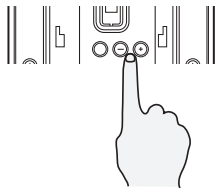
通話音量を「大」「中」「小」「最小」の4段階で設定します。

1 通話中に、音量-ボタンまたは音量+ボタンを押します。

音量+ボタンを押すたびに、「最小」「小」「中」「大」と音量が大きくなり、音量-ボタンを押すたびに、「大」「中」「小」「最小」と音量が小さくなります。

ボタンを押すごとに選択した通話音量になります。(音量が「最大」のときに、音量+ボタンを押すと、「最大」を知らせる音が鳴ります。)

出荷時設定:「中」



故障と判断する前に

症状	確認内容	対処方法
動作しない	電池が入っていますか？	電池を入れてください。
	電池の⊕、⊖を間違えていませんか？	電池を正しい方向で入れなおしてください。 ➡12ページ
	室内機(親)の玄関1ランプまたは玄関2ランプが赤色で点滅していませんか？	電池残量が少なくなっています。2本とも新しい電池に交換してください。圏外の場合も赤色点滅します。➡12ページ
室内機(親)が受信しない	室内機(親)の電源は入っていますか？	室内機(親)の電源ランプを確認して、緑色で点灯していることを確認してください。
	室内機(親)に登録していますか？	玄関子機を増設した場合、室内機(親)に登録が必要です。 ➡14ページ
	呼び出しボタンを押すと警告音が鳴りませんか？	電波が届いていない可能性があります。 設置場所を変えてみてください。
相手の声が小さいまたはエコーや反響音がする	通話音量の設定が「最小」または「小」になっていませんか？	通話音量の設定を「中」または「大」にしてください。 ➡27ページ
	両方から同時に話しかけていませんか？	相手が話し終えてから、話をしてください。 音の大きい方が優先されます。
	玄関子機の周囲の音が大きくありませんか？	周囲の音を小さくしてください。
	異物(クモの巣や、雪、雨水など)が玄関子機のマイク穴につまっていませんか？	マイク穴の異物を取り除いてください。

症状	確認内容	対処方法
相手の声が小さい またはエコーや反響音がする	玄関子機本体に雨粒が激しく当たっていませんか？	雨粒の振動がマイクに伝わると振動音が優先されます。 設置場所を変更してください。
こちらの声が相手に聞こえにくい	マイクから離れすぎていませんか？	マイクに向かって(30cm以内)話してください。

メンテナンス

お手入れおよびメンテナンス時のご注意

- 本製品や本製品の付属品は、お子様の手が届かない場所に保管してください。
- 本製品を分解しないでください。故障の原因となります。
- ベンジンやアルコール、シンナーなどは使わず、乾いた布で乾拭きしてください。溶けたり、変形や変色の原因となります。
- 長期間使用しないときは、乾電池を取り外してください。

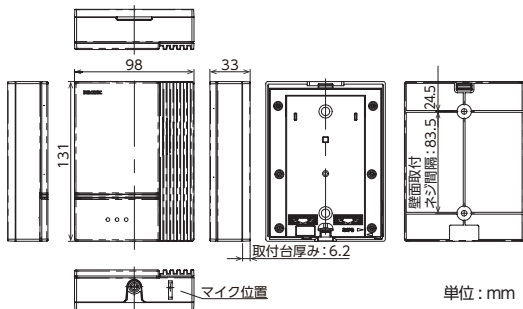
仕様

項目	規格
標準規格	ARIB STD-T101準拠
周波数	1,895.616~1,902.528 MHz (1.728MHz step)
通信方式	時分割多元接続方式
通信可能距離	約100m(見通し)
電源	単3アルカリ乾電池 2本
連続通話時間	3分間
電池寿命	約1年 ^{※1}
防水性能【保護等級】	IPX3(防雨型)
使用温度範囲	-10~+50℃
外形寸法	(H) 131×(W) 98×(D) 33 mm
質量	約230g(電池除く)

※1: 10秒間の通話を1日5回行った場合の計算値

仕様は改良により予告なく変更させていただくことがありますので、ご了承ください。

外形寸法図



※本製品を処分するときは、地方自治体のルールにしたがって処理してください。

製品に関する
お困りごとを解決!



スマートフォンで
各種設定方法が
わかる➡



ホームページでも初期設定や、各種端末の詳しい手順を確認できます。

[1016]

QRコードからアクセスしてください。

保 証 書

●無料修理規定

※本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管ください。

1. 本保証書は、お買い上げから下記保証期間内に故障した場合、無料修理規定により、当社が責任をもって無料修理を行なうことをお約束するものです。(消耗部品は除く)
したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
2. 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な場合は、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにお問い合わせください。なお、商品を直接当社へ送付した場合の送料などはお客さまのご負担とさせていただきます。また、保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
3. 保証期間中、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い求めの販売店を通じて無料修理いたしますのでお申し付けください。
4. 次のような場合には保証期間内でも有料修理となります。①ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。②お買い上げ後の取り付け場所の移送、輸送、落下などによる故障および損傷。③火災、地震、噴火、洪水・津波などの水害、落雷、その他の天変地異、戦争・暴動による破壊行為、公害、塩害、ガス害、ねずみや昆虫、鳥など動物の行為による損傷、指定以外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障および損傷。④塗装の色あせなどの経年劣化や、使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の現象。⑤用途以外(例えば車両、船舶への搭載など)に使用された場合の故障および損傷。⑥本保証書を提示・添付されていない場合。⑦本保証書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い求めの販売店の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合。
5. 製品対価以上の保証はいたしません。
6. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。(This Warranty is valid only in Japan.)
7. 期間中の転居、贈答品、その他の理由によりお買い求めの販売店に修理が依頼できない場合には、当社カスタマーセンターまたは当社営業所にご相談ください。
8. お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間中のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

型 番 DWA20D		お買上年月日 年 月 日	保証期間 お買上日から 1 年 間
ご購入・ご店名 電話 () -		フリガナ 様	電話 ()

カスタマーセンター



0570-033-083

※全国一律料金でご利用いただけます。

※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

※ナビダイヤルは各社音声通話定額サービスの対象外となっております。

(1908)

DXアンテナ株式会社

受付時間 9:30~17:00 (夏季・年末年始休暇は除く)

一部のIP電話で上記番号がご利用になれない場合:050-3818-9016

ホームページアドレス

<https://www.dxantenna.co.jp/>